

# 根拠を明確にして意見を書こう ～ ふるさとの未来を考える ～

令和元年11月8日(金)

第2校時 9:50～10:40

第2学年A組 生徒数32人

(男子17人・女子15人)

本時で育成する資質・能力

□課題発見・解決力

□コミュニケーション力

研究主題 対話を機能させ、考えを深める学びづくり

## 1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領(平成20年)の第2学年「B 書くこと」の指導事項「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書く」力、「エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にする」力を、言語活動例の「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと」を通して身に付けさせることを目的として設定するものである。

本単元では、これまでの身近な生活から地域社会へと視野を広げて、書く課題を設定する。ここでは、市の広報誌に掲載された「市長コラム」から市の課題を捉え、ふるさとを活性化するための提言を考えて意見文にまとめる活動を行う。市長さんや市役所の地域創生推進課や商工観光課の方等に納得してもらえる提言とするためには、意見に具体性があり、それを支える根拠に説得力があることが必要となる。相手や目的に応じて、根拠となる事実の選び方や示し方、意見へのつなげ方等、論の展開を工夫し、異なる立場の人の意見も踏まえて、説得力のある文章を書く力をつけるのに好適の学習材である。

## 2 生徒観

本学級の生徒は、落ち着いた雰囲気の中で、国語の学習に意欲的に取り組んでいる。表現意欲が高く、グループの話し合いにも積極的に参加できる。6月に行った広島県「基礎・基本」定着状況調査の質問紙調査において、「国語の勉強はよくわかる」と答えた生徒は90.0%(県平均81.5%)で、国語の学習に対して苦手意識をもっている生徒は比較的少ない。しかし、書くことが苦手な生徒は多く、「何をどのように書いたらいいかわからない」「根拠をどう示したらよいかかわからない」という声がよく聞かれる。同調査において、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」の項目は70.7%(県71.9%)とやや低かった。

既習内容の定着状況を把握するために、全国学力・学習状況調査の問題(今年度国語③「意見文を書く」)に取り組みさせたところ、設問一の正答率が74.1%(県平均87.6%)、設問二が54.8%(同80.6%)であった。いずれも県平均よりかなり低く、本単元と関連のある「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く力」や「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する力」には課題があるといえる。

## 3 指導観

単元を通して、目的をもって学習に取り組めるよう、「みんなで安芸高田市への提言集をつくる」という言語活動を設定する。自分と関わりのある地域の課題について、知恵を出し合って解決策をまとめるという設定とすることで、一人一人の学びへの主体性を引き出すとともに、仲間との「対話」に必然性をもたせたい。意見文を書いていくに当たっては、書くことが苦手な生徒から「何を書いたらよいかかわからない」という声が出ることが予想される。そこで、まず「説得力のある意見文とはどのようなものか」をしっかり押さえさせた上で、自分の考えを分析して「意見」「事実」「理由付け」のつながりを考えてまとめたり、異なる意見を予想させたりして、一つ一つ書くための材料を集めさせる。

指導に際しては、ペアやグループでの「対話」の場を適宜設定し、常に学び合いができるようにする。読み手の立場から相互にアドバイスをさせることで、自分の意見文を客観的に評価し、より説得力のあるものにできるようにさせたい。

#### 4 単元の目標

- 自分と関わりのある地域の課題について進んで自分の考えをもち、説得力を高めるための工夫について積極的に考え、仲間と学び合いながら意欲的に意見文を書こうとする。(関心・意欲・態度)
- 自分の意見が効果的に伝わるように、自分の立場を明らかにし、根拠となる事実を選んだり事実と意見とのつながりを考えたりして、論の展開を工夫する。(書くこと ウ)
- 書くための材料を整理したり書いた文章を読み返したりして、意見と根拠のつながりや文章全体の構成などについて評価し、それを生かして意見文を書く。(書くこと エ)
- 意見文という文章形態の特徴を理解し、相手や目的に応じた文章の構成や説得力のもたせ方を考える。(伝国 イ (オ))

#### 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
①自分と関わりのある地域の課題について、進んで自分の考えをもち、説得力を高めるための工夫について積極的に考え、仲間と学び合いながら意欲的に意見文を書こうとしている。	①自分の立場を明らかにし、根拠となる事実を選んだり事実と意見とのつながりを考えたりして、説得力のある意見文となるよう論の展開を工夫している。 ②書くための材料を整理したり書いた文章を読み返したりして、意見と根拠のつながりや文章全体の構成などについて評価し、それを生かして説得力のある意見文を書いている。	①意見文という文章形態の特徴を知り、相手や目的に応じた文章の構成や説得力のもたせ方について理解している。

#### 6 本単元において育成しようとする資質・能力

育成したい資質・能力	◇本単元で目指す生徒の姿
課題発見・解決力	◇地域社会に目を向けて課題を見出し、それらを自分の問題として捉えて、自分なりの解決策を考えようとしている。 ◇自分の考えを伝えるために必要な情報を収集・整理し、構成や表現を工夫して自分の考えを文章にまとめている。
コミュニケーション力	◇課題解決に向けて、互いの考えを積極的に交流して評価し合い、考えを深めたり、より良い表現を考えたりすることにつなげている。

7 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	○学習内容 ◎学習課題 ☆資質・能力	◇評価規準
第二次	1	<p>単元課題：ふるさとの未来について考え、私たちの意見を市長さんに提言しよう。</p> <p>○単元の学習の流れを理解し、学習の見通しをもつ。 「安芸高田市の未来について考え、自分たちの考えを意見文にまとめて、市役所等に提言する」というゴールイメージをつかむ。</p> <p>○「消滅可能性都市」の地図を見たり、安芸高田市の「市長コラム」を読んだりして考えたこと、疑問に思ったこと等について話し合う。</p> <p>◎市長さんは、私たちにどんなことを訴えたいのだろう？</p> <p style="text-align: center;">課題設定</p> <p style="text-align: center;"><b>☆課題発見・解決力</b></p>	<p>◇自分と関わりのある地域の課題について、進んで自分の考えをもち、説得力を高めるための工夫について積極的に考え、仲間と学び合いながら意欲的に意見文を書こうとしている。（関心・意欲・態度①）</p>
	2	<p>○二つの意見文を比べ、どちらの意見文がより説得力があるか、またそれはなぜか話し合い、「説得力のある意見文を書くためのポイント」を捉える。</p> <p>◎より説得力のあるのはどちらの意見文だろう？</p>	<p>◇意見文という文章形態の特徴を知り、相手や目的に応じた文章の構成や説得力の果たせ方について理解している。（言語に関する知識・理解・技法①）</p>
第三次	3	<p>○安芸高田市が50年後も存続しているためには何をすればよいか話し合い、学級で三つ程度の意見（提言）にまとめる。</p> <p>○三つの提言のうちの一つ「(例) 市への提言1：生活をもっと便利に」について、①実現するための具体策、②それを行うべき理由を考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>◎安芸高田市が50年後も存続しているためには、どうすればいいのだろうか？</p> <p style="text-align: center;"><b>☆課題発見・解決力</b></p>	<p>◇ふるさとの未来について自分の問題として捉え、進んで自分の考えをもとうとしている。（関心・意欲・態度①）</p> <p>◇自分の考えを明確にし、意見と理由のつながりを考えて具体的に書いている。（書く能力①）</p>
	4	<p>○「市への提言」について、意見を支える事実（資料）を読み取り、疑問に思ったことを調べる。</p> <p>◎資料から考えられることは何だろうか？</p>	<p>◇自分と関わりのある地域の課題について、進んで自分の考えをもち、説得力を高めるための工夫について積極的に考え、仲間と学び合いながら意欲的に意見文を書こうとしている。（関心・意欲・態度①）</p>
第三次	5（本時）	<p>○「市への提言」について、意見を支える根拠となる事実の適切性や意見と事実のつながりについて考え、説得力のある根拠をまとめる。</p> <p>◎どんな根拠を述べたら、相手を納得させられるだろう？</p> <p style="text-align: center;"><b>☆コミュニケーション能力</b></p>	<p>◇自分の考えを明確にし、根拠となる事実を選んだり事実と意見とのつながりを考えたりして、説得力のある根拠をまとめている。（書く能力①）</p>

	6	<p>○市への提言について予想される反論等を考え、付箋に書き出す。</p> <p>○書くために必要な情報をインターネット等で調べる。</p> <p style="text-align: center;"><b>情報収集</b></p> <p>○意見文の構成を考えながら付箋を整理し、「構成シート」にまとめる。</p> <p style="text-align: center;"><b>整理・分析</b></p> <p>○グループで「構成シート」を交流し、意見と根拠のつながりや文章の構成などについてアドバイスし合う。</p> <p>◎自分の意見に対して、どんな反論があるだろう？</p> <p style="text-align: center;"><b>★コミュニケーション能力</b></p>	<p>◇自分と関わりのある地域の課題について、進んで自分の考えをもち、説得力を高めるための工夫について積極的に考え、仲間と学び合いながら意欲的に意見文を書こうとしている。（関心・意欲・態度①）</p> <p>◇自分の立場を明らかにし、根拠となる事実を選んだり事実と意見とのつながりを考えたりして、説得力のある意見文となるよう論の展開を工夫している。（書くこと①）</p>
第四次	7	<p>○「構成シート」をもとに、600字程度の意見文＝「私からの提言」を書く。</p> <p>◎自分の意見をしっかり伝えるためには、どのような表現をすればよいだろう？</p>	<p>◇自分の立場を明らかにし、意見と根拠のつながりを考えたり異なる立場からの意見を踏まえて考えたりして、説得力のある意見文を書いている。（書くこと①②）</p>
第五次	8	<p>○それぞれの共通点や相違点に注意してグループで意見文を読み合い、構成や表現で工夫されている点や自分の表現に生かしたいことなどについて話し合う。</p> <p>○単元の学習をふり返り、学習を通して学んだこと、考えたことなどをまとめる。</p> <p>◎学級の提言に採用したい「イチオシ意見文」はだれの作品だろう？</p> <p style="text-align: center;"><b>まとめ・ふり返り</b></p>	<p>◇書くための材料を整理したり書いた文章を読み返したりして、意見と根拠のつながりや文章全体の構成などについて評価し、それを生かして説得力のある意見文を書いている。（書くこと②）</p>

## 8 本時の学習

- (1) 目 標 ○意見を支える根拠となる事実の適切性や意見と事実のつながりについて吟味し、説得力のある根拠を考えることができる。
- (2) 評価規準 ○説得力のある意見文となるよう、意見を支える根拠となる事実の適切性や意見と事実のつながりについて吟味し、自分の意見とその根拠をまとめている。(書く能力)
- (3) 授業展開 (4/8)

学習活動 (生徒の思考の流れ)	○指導上の留意点 ◎発問 ◆配慮を要する生徒・グループへの支援	◇評価規準【評価方法】 ☆育成したい資質・能力
<b>1 既習内容を確認する。(全体)</b>		
○前時までの学習を振り返り、既習内容を確認する。	○前時までに学習した「説得力のある意見文を書くためのポイント」を想起させる。 ①意見が明確であること。 ②意見を支える事実が具体的であり、事実に対する自分の解釈があること。 ③異なる立場の意見(反論)も考慮に入れていること。	
<b>2 学習課題を設定する。(全体)</b>		
○本時の学習課題をつかむ。	○「市への提言」を説得力のあるものにするためには、どのような根拠を挙げればよいか考えていくという本時の学習課題をつかませる。	
(課題) どんな根拠を述べたら、相手を納得させられるだろう？		
<b>3 課題について考察し、考えをまとめる。(個人→グループ)</b>		
○自分の選んだ事実と意見とのつながり(理由付け)を考え、グループで検討する。 【個人】 【グループ】	○グループ内で「意見」と「事実」と「理由付け」を交流し、それぞれが選んだ「事実」や「意見」「事実」について、根拠として妥当かどうか、グループで検討させる。 ○メモを取りながら交流し、質疑応答させる。 <div data-bbox="491 1317 1465 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「〇〇市の取り組みについて、どのように安芸高田市に生かせるのかももう少し詳しく教えて？」 「その取り組みは安芸高田市でも行っていると思うけど、どうかな？」</div> ○グループの中から、聞いて納得できた案を1つ選び、違う班に説明を行う。 ○「意見」—「事実」のつながりを考えさせ、「事実」—「理由付け」が、意見を支える説得力のある根拠となっているか、なっていない場合は、どうすれば説得力が出るのか、グループで話し合わせる。 <div data-bbox="491 1727 1465 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「〇〇くんの案がいいと思ったよ。事実も具体的な数値があって分かりやすかったし、理由が安芸高田市でもできそうな理由だったからね。」 「私も〇〇くんの案がいいと思った。事実と理由付けと意見がしっかりつながっていて納得できたから。」</div> ○机間指導をしながら話し合いの状況を把握する。 ◆話し合いが活性化しないグループには、他のグループで出ている例や話し合いの視点等を紹介し、参考にさ	コミュニケーション力

<p>○全体で考えを交流する。 【全体】</p>	<p>せる。 ○選ばれた生徒は違う班の人に説明を行う。 ○聞く人はメモを取りながら聞き、質疑応答させる。 ○自分が考えた案を相手に伝えることを通して、事実の適切性や事実と理由付けと意見のつながりについてまとめをする。 ○数名を指名して、電子黒板で全体に示す。共通している説得力の持たせ方を確認する。</p>	<p>◇説得力のある意見文となるよう意見を支える根拠の適切性や意見と根拠のつながりについて考え、自分の意見とその根拠をワークシートにまとめている。(書く能力)【ワークシート・観察】</p>
------------------------------	---	--

**4 学習のまとめを行う。(集団)**

<p>○互いの学びを交流する。</p>	<p>○どのような根拠を述べるとよいか、生徒の言葉でまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①意見に沿った事実を述べること。意見と事実をつなぐ理由付けを具体的に書くこと。 ②異なる立場の意見(反論)も考慮に入れ、解決策を考えておくこと。</p> </div>
---------------------	-------------------------------------	---

**5 本時の学習を振り返る。(個人)**

<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>○ワークシートに、本時の学習でわかったこと、考えたこと、今後に生かしたいことなどを書かせる。</p>	
---------------------	---	--

**6 次時の学習の見通しをもつ。(集団)**

<p>○次時の学習についての見通しをもつ。</p>	<p>○次時以降は、本時の学習を生かして、「市への提言2」か「市への提言3」のどちらかを選び、自分で意見文を書いていくことを伝え、学習の見通しをもたせる。  ○家庭学習の課題を知らせる。</p>	
---------------------------	---	--

**9 板書計画**

根拠を明確にして意見文を書くこと  
○「説得力のある意見文」とは

①意見文が明確  
②事実に対する自分の解釈があること  
③反論を踏まえた意見

【課題】 どのような根拠を述べたら、納得できるだろう？

聞くときの観点

- ・意見を支えるふさわしい事実か
- ・意見と事実のつながり(理由付け)は適切か

交流を通して・・・

上手くいったこと

○事実の中に具体的な数字があつてわかりやすかった

○意見と事実をつなぐ理由付けがわかりやすかった

上手くいかなかったこと

- 反論の解決策を考えていなかった
- 取り上げた事実と意見が合わなかった

た

【まとめ】

意見に沿った事実を述べる。意見と事実をつなぐ理由付けを具体的に書く。反論に対する解決策を考えておく。